

広益社団法人倉吉市シルバー人材センター平成二十九年度第三十回定時総会

皆様こんにちは。紹介いただきました倉吉市議会教育福祉常任委員会委員長の藤井隆弘です。議長が所用で上京しておりますので、担当委員会委員長の私が、市議会を代表してご挨拶させていただきます。

本日は、平成二十九年度第三十回定時総会の開催、誠におめでとうございます。

倉吉市シルバー人材センターは、昭和六十二年の設立以来、「高齢者の就業促進と生きがい対策のため」積極的に事業展開され、成果を上げておられるとお聞きしております。

市議会でも、四年ぶりに議会だよりを倉吉をイメージした「白壁」として発行しました。お読みいただけただけでしょうか。私が編集委員長を務めておりますが、創刊号を市民の皆様にお届けするに当たり、早速シルバー人材センターの皆様にご配布などお世話になったところです。

近頃、「一億総活躍」とか「働き方改革」といった言葉を耳にします。一億総活躍のキーワードは女性、高齢者、外国人労働者です。また、

働き方の中には、フルタイムだけでなくさまざまな働き方が提言されています。高齢者が自らの特技を活かして働く、生きがいを持って多様な社会参加しておられるシルバー人材センターの活動は、まさに「一億総活躍・働き方改革」にぴったりの活動だといえます。

さて、現在、倉吉市では、昨年十月の鳥取県中部地震からの復興に向け、今年度を復興元年として全市を挙げて努力を続けています。震災前以上に「安心安全で元気なくらしよし倉吉と高齢者の皆さんの知恵や経験が欠かすことが出来ません。

漢字で高齢者の高いという字を、「光る」という文字に置き換え「光齢者」と呼ぶこともあるようです。倉吉の復興にあたって、倉吉市が、市民全てが光り輝くための皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。

終わりになりますが、倉吉市シルバー人材センターのますますのご発展と皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げます。私からのご挨拶といたします。本日は誠におめでとうございます。